

令和8年度 大学・研究機関等研修 予定表

徳島県教育委員会

令和8年3月6日現在

| No. | 講座名 | 定員 | 日時 | 大学等 | 講座・受付場所 | 対象 | | | | | | 講師 | | | 講座内容、PR等 | |
|-----|---|-----|----------------------------|------------|---|----|---|---|---|---|---|----|--|-----------|-------------------------|---|
| | | | | | | 幼保 | 小 | 中 | 高 | 中 | 特 | 所属 | 職名 | 氏名 | | |
| 1 | 見方・考え方を働かせた社会科の授業づくり | 40名 | 令和8年7月22日(水) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(1) | 鳴門教育大学 地域共創棟1階 多目的教室 | | ○ | | | | | | 高度学校教育実践 専攻 社会科教育 コース | 准教授 | 井上 奈穂 | 見方・考え方を働かせた授業はどう作ればよいのでしょうか？学習指導要領に応じた実践的な内容でこの課題に迫ります。 |
| 2 | 算数・数学教育カリキュラムを一貫した説明・証明指導 | 40名 | 令和8年7月22日(水) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(2) | 鳴門教育大学 地域共創棟2階 教授スキル演習室 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 高度学校教育実践 専攻 数学科教育 コース | 准教授 | 早田 透 | 算数・数学教育に関して、小学校の説明指導と中学校の証明指導の連関を中心に、高等学校数学IAくらいまで幅広く対象とし、子どもが説明・証明する能力を養うための基礎的な講義と演習を行います。数学教育(算数を含む)における説明・証明の本性から指導に繋がる研修です。 |
| 3 | STEM教育を使えると、教師は「科学者＆芸術家」に進化できる！ | 20名 | 令和8年7月23日(木) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(3) | 鳴門教育大学 地域共創棟1階 多目的教室 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 教育探求総合 コース(理科教育 コース兼任) | 特命教授 | 胸組 虎胤 | 学部や大学院でも学べなかった教科間の関係と階層性、STEM教育とSTEAM教育について学びます。これからの時代、各人が創造的なことを生み出せる教育が求められます。STEAM教育はその基礎です。STEAM教育について学んでおきましょう。そうすると、あなたは「科学者＆芸術家」に進化できます。 |
| 4 | 絵本とその読み聞かせで学力をつけ、いじめを防ぐ | 20名 | 令和8年7月24日(金) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(4) | 鳴門教育大学 共通研究A棟6階 A3会議室 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 国語科教育 コース | 特命教授 | 余郷 裕次 | 絵本の読み聞かせの基本的技法から教育的効果まで、実技を交えて講義します。これから絵本の読み聞かせしてみようとする方から、ベテランの方まで受講していただけます。 |
| 5 | 実技を通して、新しい視点の「運動の見方・考え方」を考えてみよう | 12名 | 令和8年7月29日(水) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(5) | 鳴門教育大学 共通研究E棟2階 E202室 体育館 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 高度学校教育実践 専攻 保健体育科 教育コース | 教授 | 湯口 雅史 | 学習指導要領や書籍を読むだけでは、理解しにくいところも体を動かしながら学ぶことで「あっそういうことか」と腑に落ちることがあります。暑い中ですが、能力の高い低い関係なく楽しく学ぶことができるように内容を工夫しています。 |
| 6 | 英語科における「話すこと」の指導と評価の一体化に関わる基本演習 | 30名 | 令和8年7月29日(水) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(6) | 鳴門教育大学 共通研究A棟1階 A318会議室 | | | | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 英語科教育 コース | 准教授 | 千菊 基司 | 「指導と評価の一体化」は、十分浸透してきた頃かと思います。講義・演習を通じ、そのあり方を整理し、具体を通じて実践力を高めましょう。 |
| 7 | 国際理解教育入門 | 20名 | 令和8年7月30日(木) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(7) | 鳴門教育大学 共通研究A棟1階 INCETセミナー室 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 人間教育専攻 グローバル教育コース NPO法人里山みらい JICA徳島 | 教授 | 小澤 大成 織田 智佳 服部 あい | 国際理解教育の背景について説明したのち、授業の中で応用可能な活動を体験していただきます。またJICAが作成した教材の一部を配布します。 |
| 8 | すぐに役立つ家庭科の授業づくり | 10名 | 令和8年7月31日(金) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(8) | 鳴門教育大学 共通研究C棟3階 C313 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 家庭科教育 コース | 教授 | 速水多佳子 | 実践的・体験的な家庭科の授業づくりについて、講義、演習、協議を行います。授業ですぐに使える教材について体験を通して学び、自身の知識も深められます。 |
| 9 | 発問・学習課題作りにつなげる国語科教材研究 | 20名 | 令和8年7月31日(金) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(9) | 鳴門教育大学 地域共創棟1階 多目的教室 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 国語科教育 コース | 教授 | 幾田 伸司 | 教材を多面的に読む方法を学ぶとともに、学習者の思考を促すためにどのような問いを投げかければよいかを考えていきます。 |
| 10 | 教育相談研修:教員のための箱庭体験グループ イメージを通じた自己理解・他者理解 | 6名 | 令和8年9月3日(木) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(10) | 鳴門教育大学 共通研究A棟4階 教育相談準備室 第3心理テスト室 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 人間教育専攻 心理臨床コース 臨床心理学領域 | 教授 | 久米 禎子 | 少人数グループで「箱庭」のグループ制作や個人制作を行います。自分の内なる声に耳を傾け、イメージ表現やイメージの交流を楽しみながら、自己や他者について気づきを深めます。 |
| 11 | 弾いて終わらせない器楽の教材研究—演奏体験を“学び”に変える— | 15名 | 令和8年9月29日(火) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(11) | 鳴門教育大学 共通研究D棟4階 D401 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 音楽科教育 コース | 教授 准教授 | 鉄口真理子 日下 瑤子 | 演奏実践と関連づけた最新の教材研究の手法を学びながら、自身の演奏技能も向上させられます。先生自身も改めて音楽作品の魅力を見出す研修です。 |
| 12 | データで見取りが深まる！授業改善につなげる教育データ活用入門 | 20名 | 令和8年7月27日(月) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(12) | 鳴門教育大学 マルチメディア教室(予定) | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高度学校教育実践 専攻 技術・工業・情報科 教育コース | 准教授 | 阪東 哲也 | 教育データを「集める→見る→分かる→改善につなげる」というサイクルで捉え、授業や学級経営の質を高めるための入門研修です。単なる集計にとどまらず、どんなデータをどう集め、どの視点で見れば「次の一手」が見えてくるのかを、具体例を通して体験します。データを分析して、児童生徒の学びやつまづきをより「リッチに見取る」ための視点と手がかりを持ち帰ることができます。 |
| 13 | 図画工作科の学び直し「造形遊びを一から学ぶ」研修 | 16名 | 令和8年7月21日(火) 9:30～16:00 | 鳴門教育大学(13) | 鳴門教育大学共通研究D棟 2階 D204教室 | | ○ | ○ | ○ | | | | 高度学校教育実践 専攻 美術科教育 コース | 教授 | 山田 芳明 | なんだかよくわからない「造形遊び」。一から学び直してみませんか。「造形遊び」を理解すると、「造形遊び」だけではなく、図画工作の授業全般への理解を深めることに繋がります。 |
| 14 | 徳島県の自然災害と学校防災 | 15名 | 令和8年7月31日(金) 9:30～16:00 | 徳島大学(1) | 総合科学部3号館 南棟2階 地球科学第1実験室 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 大学院 社会産業理工学 研究部 理工学域 | 准教授 | 西山 賢一 | 徳島県内で発生する地震災害、津波災害、土砂災害、洪水災害について理解し、防災教育につなげるとともに、各学校が置かれている土地条件に基づく災害危険性を把握することで、災害時の学校の安全管理の向上を図ることをねらいとしています。 |
| 15 | ESD授業実践—SDGs地球環境問題をテーマに授業をつくる— | 12名 | 令和8年7月22日(水) 9:30～16:00 | 徳島大学(2) | 総合科学部 ゼミ室 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 大学院 社会産業理工学 研究部 社会総合科学域 | 教授 | 豊田 哲也 | 高校地理で扱う「地球的課題」の内容がベースですが、歴史、公民、理科などの科目とも関連し、探求学習のテーマとしても役立ちます。徳島大学教養教育院で開講中の講義「SDGs地球環境問題」のオンデマンド教材(15回分)をYoutubeで提供します。当日は、アクティブラーニングの方法を取り入れたワークショップ形式で体験的に学びます。 |

| No. | 講座名 | 定員 | 日時 | 大学等 | 講座・受付場所 | 対象 | | | | | | 講師 | | | 講座内容、PR等 | |
|-----|---------------------------------|-----|---------------------------------|-------------------------------------|---|----|---|---|---|----|---|----|---|-------------------------------------|-------------------------|--|
| | | | | | | 幼保 | 小 | 中 | 高 | 中等 | 特 | 所属 | 職名 | 氏名 | | |
| 16 | 総理大臣になるとはどういうことか具体的に考えてみる | 30名 | 令和8年7月29日(水) 9:30～16:00 | 徳島文理大学 (1) | 徳島キャンパス 2号館 2階 アカンススタジオ | | | | ○ | ○ | ○ | | 総合政策学部 | 教授 | 青野 透 | 担当者は、金沢大で27年、文理大で11年、憲法を教えてください。 |
| 17 | 今日における幼児期の子どもの発達と教育方法 | 20名 | 令和8年7月29日(水) 9:30～16:00 | 徳島文理大学 (2) | 徳島キャンパス 9号館 8階 ゼミ室1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 人間生活学部 児童学科 | 教授 | 三橋謙一郎 | 今日における幼児期の子どもの発達を促すための指導技術、ならびに保護者との対話と連携について学びます。当日までに、「押しつけ教育」と「子どもに任せる教育」の誤り、ならびに教育活動において、子どもたちを主体として育てるための「働きかけ」とは何かについて、予習をしておいて下されば幸いです。 |
| 18 | 理解しにくい子を理解するために | 30名 | 令和8年7月31日(金) 9:30～16:00 | 徳島文理大学 (3) | 徳島キャンパス 9号館 8階 ゼミ室1 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 人間生活学部 心理学科 | 教授 教授 | 青木 宏 福本 浩行 | 無限の献身や努力以外の解決策を考えましょう。私たちのコミュニケーションには意外な隘路と意外な抜け道があります。 |
| 19 | 小中高生向けの金融教育のあり方を考える | 20名 | 令和8年7月24日(金) 9:30～16:00 | 四国大学 (1) | 四国大学 B館 1階 107号室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 経営情報学部 | 教授 | 臼井 正樹 | 昨年度(令和7年度)は18名のご参加を頂き、多くの先生方からポジティブなご評価を頂いたと勝手に解釈しております。「自分自身の金融リテラシーを高めることができた。」「学びがたくさんあった講義なので、今後も機会があればぜひ研修に参加したい」「まずは私たち(教員)自身が経済動向をみながら、正しい知識を身に着け、自分の考えを持つことや、すべき行動を判断していくことが大切だと思った。」等の評価を頂きました。 |
| 20 | 書に彩りを ー色彩を加えた作品づくりー | 20名 | 令和8年9月3日(木) 9:30～16:00 | 四国大学 (2) | 四国大学 文学館 F101教室、F106教室、F107教室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 文学部 書道文化学科 | 教授 | 辻 尚子 | 書写・書道に美術的な要素を加えることで表現の幅が広がり、書の面白さや楽しさを体感できます。対象児童、生徒等に応じた取り組みの参考となる研修です。 |
| 21 | 新しい地域交通サービスと次世代車技術 | 10名 | 令和8年9月4日(金) 9:30～16:00 | 徳島工業 短期大学 | 教室、実習場 ※受付 本館正面玄関入口 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 徳島工業 短期大学 | 教授 講師 講師 | 多田 博夫 東條 賢二 高橋 秀成 | 次世代交通システムや、デマンド交通、高齢者の運転を支える先進運転支援機能の動向を学び、地域における移動の課題と解決策を探ります。あわせて、電気自動車・燃料自動車など次世代自動車の構造や機能について実習を通して理解し、持続可能社会におけるモビリティの姿を総合的に考えます。 |
| 22 | 教員のための博物館の日in徳島 | 20名 | 令和8年7月29日(水) 9:30～16:00 | 徳島県立 博物館 (県立鳥居龍蔵 記念博物館) | 徳島県立博物館 ※受付 3階講座室前 県立鳥居龍蔵記念博物館 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 徳島県立 博物館 県立鳥居龍蔵 記念博物館 | 企画担当 自然担当 人文担当 | 鉄谷 雅史 | 博物館には、学校の授業に役立つ学習資源がたくさんあります。この講座は、先生方が博物館に親しみをもち、学習資源の活用につなげていただくことをねらいとしています。 |
| 23 | 体験型サイエンス研修 | 12名 | 令和8年7月29日(水) 9:30～16:00 | 阿南市 科学センター | 阿南市科学センター ※受付 正面玄関入口 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 阿南市 科学センター | 指導員 学芸員 | 稲井 俊道 今村 和義 | 科学センターの事業で使用・実践していることを教員の皆様にお伝えします。一つでも現場に持ち帰れる(活かせる)ことがあれば、幸いです。 |
| 24 | あすたむらんど徳島 子ども科学館プラネタリウムの学習利用 | 20名 | 令和8年9月9日(水) 9:30～16:00 | あすたむらんど 徳島 子ども科学館 | あすたむらんど徳島 子ども科学館 ※受付 子ども科学館多目的ホール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | あすたむらんど 徳島 | プラネタリウム グループ長 展示グループ | 安藤 徹 富永 浩史 | プラネタリウムを使用します。また、教室内でも使用できるデジタルプラネタリウムソフトについて詳しく解説します。通常の授業時間(昼間)では説明の難しい天文分野の説明に役立つソフトです。 |
| 25 | 学ぼう！実践しよう！消費者教育 | 20名 | 令和8年7月23日(木) 9:30～16:00 | 徳島県消費者 情報センター | 徳島県職員会館 2階第1会議室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 消費者庁未来創造戦略本部 徳島県消費者政策課 徳島県消費者情報センター 株式会社徳島大正銀行 | 担当 担当 リスクコンプライアンス部 部長代理 | (未定) (未定) 斉田 友明 | 若者の消費者被害防止に向けて、最新のトラブル事例やその対処法を専門家から学びます。 |
| 26 | 税務署で学ぼう税と財政 | 20名 | 令和8年9月30日(水) 13:00～16:00 | 徳島税務署 | 徳島税務署 3階大会議室 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 高松国税局 徳島税務署 徳島財務事務所 | 国税広報 広聴室長 税務広報 広聴官 総務課長 | (未定) | 身近な税の仕組みや税に関する最新の情報、国税局や税務署の取組、公債や社会保障費を中心に、日本の財政のこれからについて学べます。租税教育(出前講座)についても説明します。 |
| 27 | 農業実習の指導力向上研修 | 15名 | 令和8年12月24日 (木) 9:30～16:00 | 徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業大学校 | 勝浦(かんきつテラス徳島) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業大学校 | 課長 主任主事 | 井川 秀雄 岸本 夏奈 | 本県の特産品である「ミカン」や「スダチ」、「ユズ」基本的な栽培技術に加え、おいしい「ミカン」の収穫体験など、有意義な時間を過ごせます。 |

※教職員であれば、どなたでも参加できる希望研修です。管理職と相談し、積極的にご参加ください。詳しくはPlant又は総合教育センターWebサイトの研修講座要項に掲載されている実施要項をご覧ください。
 ※対象校種の「幼保」は幼稚園及び幼保連携型認定こども園、「小」は小学校、「中」は中学校、「高」は高等学校、「中等」は中等教育学校、「特」は特別支援学校を示しています。
 ※ で表示されている内容は、ただいま確認中のものです。確定した内容につきましては、4月中旬頃、Plant又は総合教育センターWebサイトの研修講座要項に掲載いたします。

申込み方法

○小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校：『令和8年度研修講座一覧 とくしま教職員研修』の【10 研修講座申込み】を参照し、「全国教員研修プラットフォーム:Plant(プラント)」で申し込んでください。

○幼稚園・認定こども園：メールまたは、ファクシミリにより、義務教育課へ申し込んでください。 義務教育課 E-mail:gimukyoku.1@g.tokushima-ec.ed.jp FAX (088)621-2882

義務教育課 幼児教育担当 TEL (088)621-3196

○国立・私立学校：メールで教職員研修課へ問い合わせてください。 教職員研修課 E-mail:kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

教職員研修課 大学・研究機関等研修担当 TEL(088)672-6419

講座要項閲覧：4月13日(月)より

申込み期間：4月13日(月)～5月15日(金)午後5時

決定通知：6月1日(月)午前10時

(※欠員の場合は二次募集を行います)